

2014年(H26年)

4月

No. 273

ひとはつうしん

(ホームページアドレス) <http://hitoha-fukushi.com>

(メールアドレス) hitoha@lime.ocn.ne.jp



社会福祉法人 ひとは福祉会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

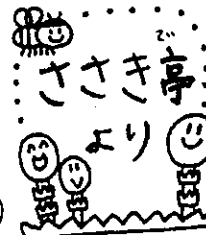
進級、進学、新社会人と、新しい環境に身を置かれて、新しい生活を始められた方も多いことと思います。増税の春、皆様いかがお過ごしでしょうか。

ひとは福祉会では、成人の利用者の方、児童の利用者の方問わず、全ての利用されている方と、個別支援計画の作成に関わる面談を概ね6ヶ月に1回行っています。私は、ひとはほこを利用する児童の保護者の方との面談をさせて頂いていますが、毎回のことながらお母さん方との話から、児童の成長の速度には人間の力強さという可能性を実感するところだ。

先日、ひとはほこを利用されている児童のお母さんとの面談後の話ですが、そのお母さんは立ち話で「今まで何歳この子と一緒に死のうと思いたか...」とおっしゃられていました。普段のそのお母さんの立ち振る舞い、物言いかからは思いもよらなかった言葉だけに、私自身びっくりしました。しかし、川崎医療福祉大学の佐々木正美先生は、著書の中で「障害のある子どもの親は、わが子の障害受容までに11の段階を辿る」と記されています。現在のお母さん、ひとはほこで出会うお母さんの状況に至られるまでに、そのお母さんはどれだけの葛藤と疲弊をされてきたことだろうと、改めて思い知らされ、考えさせられたところだ。

進級、進学とステージ移行を迎える新年度は、誰にとっても期待と不安が入り混じる時期です。ひとはほこを利用する児童のお母さん方にとって、ステージ移行を迎える春が、期待に膨らむ彩り豊かな春となるように、ひとはほこ、ひとは福祉会全体で存在感を発揮していけるように邁進していきたいと思っております。どうか、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

(放課後等サービス事業所 ひとほこ 施設長 佐竹正光)



この4月末で 寄りあい処 ささき亭は、オープン3年目を迎えます。

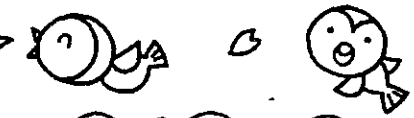
これまで支えてくださった皆さんの気持ちを大切に

しながら、これからも“また来たい”“思ってもらえる”“喜びを共有できる”“私も応援したい”と思ってもらえるささき亭にしていこうと思っております。

地元の野菜をふんだんに使ったランチ、古民家の雰囲気、桂時計のボーンボーンという音色、お客様同士のつながり、心あたまる空間とおもてなしでみなさんのお越しをお待ちしています。

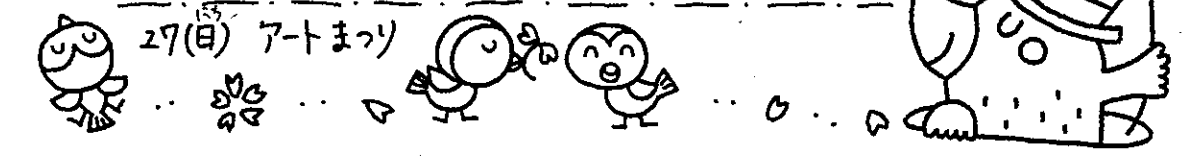


行事予定 4月



- ◎ ささき亭 とある人の作品展 (4月11日)
- 12(土) HONEY'S コンサート シロイハコ 1日パン屋
- 22(火) アロマオイル・香水教室 (参加費1,000円)
- 26(土) カズ&ミキ コンサート

4月のトールペイント教室はお休みします。5月14日(水)に梅雨にちなんだモノをつくります。(参加費500円)



ハーモニカがつなげた縁

- (十) 私は、客間でハーモニカを吹くことがあります。
- (十一) 2月のある日、最初に来店されたお客さんに名前をたずねると「面白い子で 明子 と言います」と言われました。
- (十二) 友だちになった 明子さんを中心に、3つのテーブルがハーモニカでつながりました。
- (十三) 明子さんが帰られたあともハーモニカの時間は続きます。
- (十四) 最後までハーモニカとのつながりを楽しんでくださった女性に名前をたずねると...
- (十五) 「私？ みんはは あき、て呼ぶんだけど、面白い子で書いて明子、て言うのよ。この偶然を一糸者に大喜びしました。「素敵なご縁をありがとう」と置き手紙を残し帰っていかれました。
- (十六) 近年、世の中にはLINEやFacebookというとても便利なつながりアイテムがあります。私は、機械にうといので扱うことができません。
- (十七) ささき亭には、「ご縁」というつながりアイテムがあります。
- (十八) 私は、機械にうといですが、「ご縁」というつながりアイテムは大切にしていこうと思います。

(ささき亭 両祖真)



ひとには来て、1年が経ちました。きららの仲間と一緒に関わっていくなかで、それぞれの仲間の好きなことや苦手なこと、楽しみとすることが少しずつではありますが分かるようになってきました。

これはある日のOさんとのやりとりです。トイレでの支援にて、ドアを「コンコンコンコン」とノックすると「コンコン」と笑い声と共に返ってきます。これを何度かくり返し2人で大爆笑... お腹が痛くなるほど笑ったひとときでした。

(共同ホーム 橋藪 真由美)

生活支援センターもやいの名称・機能が変わります



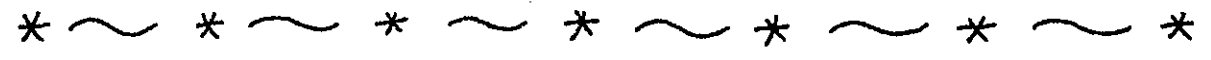
これまでの新聞報道等で知られた方も多くと思いますが、平成26年6月より「安芸高田市基幹相談支援センター」が開設され、安芸高田市における相談支援体制が、基幹相談支援センターを中心としたものになります。

生活支援センターもやいは、これまで安芸高田市から相談支援事業の委託を受け、生活上の様々なよろず事相談に対応してきましたが、今後は、よろず事相談対応の機能は「安芸高田市基幹相談支援センター」に移行し、障害者総合支援法や児童福祉法における「サービス等利用計画」の作成を行う「相談支援事業所もやい」として、名称と機能を改めて実施していくことになりました。

そのことに伴い、これまで生活支援センターもやいで行ってきた「セアサロン」と「パソコン教室」については、今後は基幹相談支援センターが行っていくこととなります。名称・機能は変わりますが、今後も「誰もが安心して暮らせる社会」の実現に向けて、地域作り・社会作りを進めていきたいと思っております。

今後ともよろしくお願いいたします。

(相談支援事業所もやい 岡崎 慎治)



ひとのはのり

私を「先生」と呼ぶ仲間がいる。名前は覚えているのか、写真を指し「矢口」と言うと「はい。」と返事がある。

どうにか名前を呼んでもらいたい。「せーぐーちー」と一文字ずつ覚えてもらう。今はまだ「たーじーちー」...

長い道のりになりそうだ。

(いきがい 矢口 詠依子)

